

前立腺肥大手術体験記

令和7年3月 HA 記

前立腺肥大は、男性特有の若くして罹る人もいるが一般的には老人病である。

しかし、下に関することであり人にはなかなか相談しにくい病気で、つつい対応が遅れてしまう恐れがある病気ですね。

前立腺肥大症の主な症状は、下記の通りの尿の排出障害ですが、最悪ひどくなると閉尿を起こし、尿が出なくなる病気です。

- 尿が出にくくなる（排尿障害）
- 頻繁にトイレに行きたくなる（頻尿）
- 排尿してもすっきりしない（残尿感）
- 尿をもらしてしまう（尿漏れ）
- 尿がしたくなると我慢できなくなる（尿意切迫感）
- 排尿の勢いが弱い、または途中で途切れる
- 排尿し終えたのにまだ尿が残っているような感覚がある

このような症状を呈する前立腺肥大症についての私の体験談を披露させていただきます。
現在前立腺肥大症でお悩みの方のお役に立てば幸いです。

私は、会社に勤めていた若い時から既に前述の様な症状があり、一度泌尿器科にかかったことがあります。軽い前立腺肥大でしょうと診断され、暫く通いましたが、それ程症状がひどくなく、いつの間にやら通うのを辞めてしまいました。

その後、人よりよくトイレに通う程度でそれ以上の症状も出ず、気にせず済ませて来ましたが、歳を経るとともに、段々上述の症状が徐々に進んで来ました。

還暦を過ぎたころ大腸がんの術後の定期検診で腎臓がんが見つかり手術した後の泌尿器科の定期検診で思い切って頻尿の相談をしたところ前立腺肥大の手術を勧められましたが、頻尿だけで閉尿にはならずにいたので中々決心出来ずに居ました。

その内に古希で膵臓が見つかりこれも手術して、消化器外科と泌尿器科に定期通院をしていましたが、ある冬の日、大学の友人と麻雀をしている時、尿意は催すが、尿が少ししか出なくなり、不快感を感じながらも何とか麻雀を終えて帰宅したら昼間より更に尿意が強くなるが全く尿が出なくなり、慌てて緊急外来へ駆け付けました。

しかし、直ぐに診てもらえず、尿意がますます強くなり膀胱がパンパンになって来るこの苦しみは未だに思い出します。

やっと診察の番が回って来て、直ちに導尿処置をお願いしてスッキリする。

翌日泌尿器科を受診して自己導尿の器具をもらって、尿が出ない時はそれを使って排尿

するよう指示を受けて、暫くその生活を続けていたが、毎回トイレごとに面倒な作業になって来たのと外出時に器具を持ち歩かなければならない事に加え、前立腺肥大症が進行すると、尿閉以外にも血尿、結石、細菌感染、腎機能障害などの症状が現れる可能性があるとの事で、たまた前立腺肥大手術を受けることに決めました。

術式は色々あることをネットで調べて負担が軽そうなレーザー光での手術を希望したのですが、掛かった病院では電気メスによる手術になりますとの事で、今更病院を変えるのも面倒なので渋々承諾する。

手術前には、MRI で前立腺がんの有無を検査して、前立腺がんが疑われる場合は生検をするかもしれませんと言われていたが、前立腺がんの疑いはなく手術を受けました。

私の電気メスによる術式は、古くから行われている手術方法の一つで、先端にループ状の電気メスを付けた内視鏡を尿道から入れて高周波の電流を流し、肥大した前立腺を少しずつ削るように切り取っていきます。

手術の所要時間は、1時間程度。 麻酔は全身麻酔で受けました。

入院期間は、1週間ほどだったと記憶しています。

私の場合、前立腺がんの肥大が大きく前立腺の中をそっくり繰りぬかれた様で、退院後も血尿が続き1か月半程、血尿に悩まされ続けました。 トイレに行くたびに血を見る嫌な期間でした。

術後の主な合併症としては、射精障害などがある様で術後初めて知りました。

手術前、医師より術式の説明は受けたが、術後の後遺症については全く説明なく、私も聞かなかった。

医師は、古希過ぎの老人だから性的な障害は関係ないと思われたのかも???

血尿が出なくなってからもその後1か月半ほどは、自転車に乗りサドルに前立腺が触れるなど座って居て前立腺を圧迫すると前立腺に鈍い痛みを感じました。

現在は、残尿感や尿の勢いなどは改善しましたが、頻尿はあまり改善されていませんが、悩むほどでなくなりました。

この経験より前立腺肥大手術の私の反省点は、下記の3点です。

1. 閉尿などの酷い症状を起こす前に早く手術すべきだった。
2. 術式はネットなどで良く調べて自分が希望する術式で手術してもらえる病院を選ばなかったこと！
3. 場所が場所だけに恥ずかしく性に関する術後の後遺症障害の説明を求めなかったこと！

現在前立腺肥大でお悩みの方は、この3点をしっかり確認してから手術されますことをお勧めします！

以 上